

## 秋の森で木の実さがし！！

- 1 日時：平成28年9月22日（木・秋分の日）  
午前の部 11：00～12：00  
午後の部 13：15～15：00
- 2 場所：福井ふるさと学びの森（大野市 自然保護センター自然観察の森）
- 3 参加者：11人（大人5、子ども6）
- 4 講師：大石橋 節子さん（自然観察指導員の会）
- 5 主催：福井県里山里海湖研究所、福井県自然保護センター
- 6 イベントのようす：



ムカゴを収穫しました。



男の子たちがザトウムシを見つけました。



長い触角をもつスミナガシの幼虫。

午前中は小雨まじりのお天気だったせいか、参加者は親子1組でした。神明山を歩きながら朽木や地面に生えているキノコの観察をしました。キノコの色は、白色や茶色、オレンジ色や赤色で、傘の形もさまざまでした。中にはこんがりと焼けた、おいしそうなパンのようなキノコもありましたが、どれも毒があり、食べられないそうです。秋の山でキノコを見つけても、安易に触れないように気をつけたいですね。

神明山からどんぐりの小径に入ると、小さなクリがあちこちに落ちていました。残念ながら収穫には少し遅く、栗ご飯にできそうな大きな実は、どれもイノシシやサルに食べられていました。クリの他には、ヤマノイモのムカゴやサルナシが実っていました。サルナシはクワイの原種で、酸味のある果肉がとてもおいしかったです。

午後は昆虫好きな子どもが集まり、昆虫採集に熱中しました。ある男の子が、ザトウムシを見つけました。ザトウムシはアニメ「千と千尋の神隠し」の釜爺のモデルになった、8本の非常に細くて長い足を持つ小さな虫です。また、スミナガシの幼虫を見ることができました。スミナガシの幼虫は、体色が光沢のあるベルベットのような茶色で、頭には長い触角があり、ヤギのような顔をしていました。とても綺麗なので、参加者からは歓声があがりましたが、幼虫は頭を振って怒っていたので、元いた場所に戻してあげました。スミナガシの幼虫は、アワブキの葉を好んで食べるので、アワブキの木にいることが多いそうです。

この日、観察した昆虫は、ザトウムシ、スミナガシの幼虫、ツマグロヒョウモン、キリギリス、コオロギ、ショウリョウバッタ、ヒシバッタ、イナゴ、ツマグロオオヨコバイ、カナヘビ、カマキリの卵塊でした。